

受領 令和4年3月1日 18時11分

通告番号 (12) 1/2

令和4年3月1日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
神谷 嘉栄 印

一般質問通告書

第515回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 新型コロナウイルス感染症の対策と対応</p> <p>(1) 3回目のワクチン接種について</p> <p>ア 3回目接種のこれまでの状況(一連の流れ)とこれからの予定。</p> <p>イ 接種対象者全体の3回目を終えた直近の接種率。</p> <p>ウ 供給されたワクチンの種類とその比率。</p> <p>エ 現段階で3回目に使用されたワクチンの比率を種類別に求める。</p> <p>オ 3回目の接種に際し新たな問題点の派生はなかったか。また、今後予想される課題はないか。</p> <p>(2) 自宅療養者への対応(支援)について</p> <p>ア 自宅療養者の累計人数を伺う。</p> <p>イ 自宅から出ることができない状況下において、どのような対応(支援)を行ってきたか。</p>	
<p>2 ヤングケアラー等に関連して</p> <p>(1) 「読谷村要保護児童対策地域協議会」の機能と役割の説明を求める。</p> <p>(2) 令和4年度より子ども未来課内に設置される「子ども家庭総合支援拠点」について説明を求める。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>3 学校給食と地産地消</p> <p>(1) 学校給食において村産食材等の提供は、これまでどのようなものがあったか。</p> <p>(2) 現在、給食の全食材中、主食を抜きにした村産食材等が占める割合は平均でどれくらいか。</p> <p>(3) 今後の安定供給についての見解を求める。</p>	
<p>4 令和4年度 施政方針より</p> <p>(1) 「デジタル社会推進課」を設置するとあるが、その業務内容を概略で求める。</p> <p>(2) 村民本位の「自治体DX」を推進することについての説明を求める。</p> <p>(3) 新たな時代を、村民や様々なステークホルダーの皆さまとの共創により「いちゅいゆんたんざ」のむらづくりを進めてまいりましょう。とあるが、共創によるということの具体例を求める。</p> <p>(読谷山花織関連)</p> <p>(4) 『草木染めの染色技術の習得』について、内容説明を求める。</p> <p>(5) 『高等学校のカリキュラムの受け入れ』とは、その内容を伺う。</p> <p>(6) 『模様ストーリー性をセールスポイントとして販売促進』とあるが、模様のストーリー性とは何か。また、販路の現状を伺う。</p>	